

教育研究業績書

2025年05月07日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：塩崎 陽子

研究分野	研究内容のキーワード
産褥期のケア	パースレビュー、母乳育児
学位	最終学歴
修士（看護学）	森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科看護学専攻修士課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. NCPR講習会Aコース	2022年4月5日2025年2月28日	講習会の事前準備やインストラクターの講習会補助
2. 事例研究	2022年4月5日2025年2月28日	本実習で受け持ちした継続事例対象者の学生への事例研究指導
3. 助産学実習と演習	2022年4月5日2024年12月31日	実習前の助産学技術演習と技術試験、助産学本実習3か月間とカウント実習2か月間の実践、
4. 助産診断技術学Ⅲ	2022年4月5日2024年7月20日	生後24時間から7日目までの新生児の観察とケア、退院後1か月健診時までの新生児の観察とケアの講義と事例演習
5. 助産診断技術学Ⅰ	2022年4月5日2024年7月20日	妊娠後期の助産診断と保健指導の講義
6. フィジカルアセスメント	2022年4月5日2024年7月20日	出生直後の新生児の観察と計測、入院経過中の新生児の観察とケアの講義と事例演習
7. 母乳育児論	2022年4月5日2024年7月20日	ラッチオンやポジショニング、授乳支援の基礎、早期母子接触、乳頭・乳房トラブル、乳汁分泌過多、乳腺炎の講義と事例演習、コミュニケーションスキル演習
8. 健康教育技術論	2022年4月5日2024年7月20日	妊娠後期の保健指導案作成（入院時期や分娩経過、産痛緩和等）、産後の保健指導案作成（沐浴指導、授乳指導、退院指導）
2 作成した教科書、教材		
1. 助産診断技術学Ⅲ	2022年4月5日	生後3日目の新生児の模擬事例の作成を行った。
2. 母乳育児論	2022年4月5日	産後1~2日目の母親の模擬事例の作成を行った。
3. フィジカルアセスメント	2022年4月5日	出生直後と入院経過中の新生児の模擬事例の作成を行った。
4. 健康教育技術論	2022年4月5日	沐浴指導や退院指導案作成において、産後3~4日目の母親の模擬事例を作成した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 助産学専攻科のNcPR講習会担当	2023年2月5日2025年3月14日	新生児蘇生法「専門」Aコースの講習会の準備や技術演習（人工呼吸・気管挿管）を行った。
2. 母乳育児支援	2022年4月5日2025年3月14日	母乳育児支援の基礎（授乳方法、授乳アセスメント、搾乳、乳腺炎予防等）、母親の気持ちに寄り添うコミュニケーション・スキル演習
4 その他		
1. オープンキャンパス担当	2022年4月5日2025年3月14日	助産学専攻科の技術演習（分娩助介・授乳支援）の紹介を学生と共にを行った。
2. 国家試験対策	2022年4月5日2025年3月14日	助産師国家試験対策として、模試や過去問の対策を行った。
3. 担任業務、キャリア支援	2022年4月5日2025年3月14日	学生3名を担任として受け持ち、学生支援や就職支援を行った。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 助産師免許	1996年4月16日	
2. 看護師免許	1991年5月21日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. オープンキャンパス	2022年6月2日2024年8月31日	オープンキャンパスの学科紹介担当
2. 入試実施関連	2022年5月25日2024年9月28	助産学専攻科内部推薦や外部入試担当

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
	日	
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 産褥早期の母親の出産体験の振り返りと自己効力感との関連	単	2022年3月1日	森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科看護学専攻修士課程 修士論文	産褥早期の母親の出産体験の振り返りと自己効力感との関連を明らかにすることを目的に、正常分娩後の褥婦に質問紙調査を実施した。褥婦97名のデータを分析した結果、誘発または促進分娩後の褥婦や初産婦は、出産直後にわだかまりを強く感じる傾向があった。出産体験の振り返りを2回以上行った人は、1回の人に比べ自己効力感が高いことが明らかになった。初産婦や誘発または促進剤を使用した分娩後は、わだかまりをとるケアの提供が重要である。また、産褥早期の母親の自己効力感の向上には、医療者や家族との出産体験の振り返りの機会を増やすことが重要である。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 産褥早期の母親の出産体験の振り返りと自己効力感との関連	共	2022年10月5日	第63回日本母性衛生学会学術集会（神戸国際会議場）	産褥早期の母親の出産体験の振り返りと自己効力感との関連を明らかにすることを目的に、正常分娩後の褥婦に質問紙調査を実施した。褥婦97名のデータを分析した結果、誘発または促進分娩後の褥婦や初産婦は、出産直後にわだかまりを強く感じる傾向があった。出産体験の振り返りを2回以上行った人は、1回の人に比べ自己効力感が高いことが明らかになった。 共同著者：塩崎陽子、中西伸子
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1. 2024年4月1日	ラクテーション・コンサルタント協会
2. 2021年4月1日	日本助産学会
3. 2021年4月1日	日本母性衛生学会